

2012年1月31日

兵庫県立大学大学院
会計研究科をご支援頂いている皆様

兵庫県立大学大学院
会計研究科長

平成 23 年度国家試験の結果についての所感

このたび、平成 23 年度公認会計士試験および税理士試験の結果が発表されましたので、本研究科の状況を報告します。

まず、公認会計士試験については、論文式試験に 6 人（2 期生：3 人、3 期生：1 人、4 期生：2 人）が合格しました。今年度の試験は、短答式試験の願書提出者 22,773 人に対し、最終合格者 1,447 人であり、合格率は 6.4%でした（旧第 2 次試験合格者等を除く）。これは、昨年度の 7.6%と比べても、一層低い結果でした。このような中、最終的に 6 人が合格したことは、学生諸君の努力と研鑽はもとより、大学関係者、さらに本研究科の教育にさまざまな形でご協力いただいている方々のおかげと感謝しております。

また、税理士試験につきましては、本研究科の在学生の中で受験した者のうち、10 人が何らかの科目に合格しました（対受験者比率：約 90%）。

本研究科で修了生を送り出して 3 年が経とうとしておりますが、公認会計士試験に合格した者が 29 人に登ります。また、税理士や公務員として活躍している者、企業において財務のスペシャリストとして活躍している者など、本研究科修了生に対して高い評価を頂いております。

もとより国家試験の合格は、本研究科が目指している会計専門職業人養成の一側面にすぎませんが、このような形で教育成果を公表することは、社会的責任という意味からも重要なことであると考えています。本研究科は、「現場で生きる実践知と健全な判断力をもつ会計プロフェッションの育成」という目的達成に、引き続き最大限の努力を払う所存です。皆様におかれましては、今後とも、本研究科に一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。